

## CONTENTS

- 2 商工会の支援事例 / 専門家派遣制度  
春の叙勲・褒章
- 3 事業承継 まず何から？
- 4 未来を応援 / 経済センサス活動調査

## 元気企業紹介

## 1,000名以上を指導した料理教室 の講師が菓子製造に挑戦 酒粕チーズケーキ専門店 「COCO MITAKE」

株式会社ナチュエット

## 企業概要

2015年に知人の“シフォンケーキを教えてほしい”の声をきっかけに起業し、「かんたんおやつ」「野菜」をキーワードにした料理教室やイベント企画を行っています。

その後、多治見市にレッスン専用のプライベートキッチンオープンし、東京や大阪など各地でも教室を開催しました。名古屋市に移転などを経て、2022年に現在の株式会社ナチュエットを設立し、可児郡御嵩町にキッチンスタジオを新築移転して現在に至ります。

## 新たな販路の開拓に向けた取り組み

アフターコロナを迎え、新しい事業を模索する中で、教室の受講生からレシピを商品化してほしいとの声をいただきました。そこで、受講生の人気が高く、健康効果やフードロスに貢献できる「酒粕チーズケーキ」の販売を始めることにしました。

しかし、家庭での再現性にこだわったキッチンスタジオのため、当社には菓子製造のための設備がないなどの課題がありました。

そこで、御嵩町商工会に国等の補助金の活用について相談しました。その中で、「御嵩町特産品振興・開発支援補助金」「御嵩町ビジネスチャレンジサポート



補助金」を提案されて、新事業の立ち上げと新商品の開発の取り組みがスタートしました。

## 御嵩町商工会の支え

御嵩町商工会には町補助金を活用する上での事業計画作成を支援いただきました。

また、原料の酒粕の仕入れ先について、候補とした酒蔵の地元である川辺町商工会に仲介いただき、商品化の目途を立てることができました。

その後も御嵩町役場の方に東美濃地域の酒蔵や地域イベントをご紹介いただくなど、行政とも一体となって取り組んだことで、酒粕チーズケーキ専門店「COCO MITAKE」を立ち上げることができました。

## これからの展望

現在の販路は酒蔵や地域のイベント販売が主ですが、製造能力を高めることで、ECサイトでの販売や取扱店を開拓していきます。

酒粕には酒蔵ごとの特性があるので、同じレシピでも違う風味の酒粕チーズケーキに仕上がる面白さがあります。異なる酒蔵の酒粕を楽しめるチーズケーキのセット商品「くらくらべ」の販売を考えています。

今後もコラボいただける酒蔵を広げ、酒粕チーズケーキを通じてお客様に自分の「推し蔵」を見つけてもらいたいと思います。(所属 御嵩町商工会)



## 株式会社ナチュエット

代表取締役 西之園真弓

📍 可児郡御嵩町御嵩1822-95

✉ info@natuette.com



▲HP



▲Instagram



発行所・発行人

岐阜県商工会連合会

岐阜市藪田南5丁目14の53 OKBふれあい会館9F

## 商工ニュース 読者アンケート

ご協力ください。ご意見ご要望もこちらまで。



## 商工会が行った支援事例をHPで紹介しています！

県連合会および県内商工会のHPでは、補助金・助成金等の案内や各種セミナー・展示会・商談会の開催情報等、事業者の皆様の経営に役立つ様々な情報を発信しています。今回は、その中のコンテンツのひとつである「支援事例」についてご紹介いたします。

県連合会HPでは、支援事例を定期的（週に1回程度）に更新しています。県内の経営指導員が実際に支援を行った事例について、「どのような支援を行ったか、活用した施策は何か」「どのような成果があったのか」を紹介しています。業種や従業員規模がわかるように掲載していますので、ご自身の事業に近い事例は支援内容や施策の活用などを参考にされてはいかがでしょうか。また、令和7年より、小規模事業者パワーアップ応援補助金（岐阜県小規模事業者持続化補助金）を活用して、事業規模拡大・業態転換・販路開拓・業務効率化等、持続的な賃上げにもつながる「稼ぐ力」の強化と、従業員の目線に立ち、柔軟な雇用の在り方を進めることで、労働力の確保と生産性向上を同時に実現する「働いてもらい方改革（新たな働く環境づくり）」に取り組む県内事業者の事例についても紹介しています。これらの支援事例のページは、HPのトップバナー等からすぐに表示することができますので、ぜひご覧ください。



## 専門家の知恵を貴社の経営力に。商工会が「伴走型支援」で課題解決を全力サポートします

激動のビジネス環境において、「どこから経営改善に手をつければいいのか」「専門的なアドバイスが欲しい」と悩まれていませんか？

商工会では、令和8年度も引き続き、小規模事業者が直面する経営課題を克服し、確かな経営力を高めていくため「専門家派遣」を実施いたします。職員だけでは対応が難しい高度な専門課題に、各分野のプロを派遣する制度です。経営の「困った」を解決し、次の一步を踏み出しませんか？

### ■ 新たに2つの専門家派遣のメニューを開始

**事業環境変化対応型支援事業 新規** 賃上げ・人手不足・物価高騰など変化する外部環境への対応支援です。

**主な支援内容**：デジタル化への対応、コスト増などを乗り越えるための収益力向上に向けた戦略策定支援などです。

**働いてもらい方・雇用環境整備支援事業 新規** 「選ばれる職場」への変革を通じ、人材の確保と定着を支援します。

**主な支援内容**：育児・介護との両立支援、ハラスメント対策、就業規則の見直し、長時間労働の是正。さらに、勤怠管理ツールの導入などデジタル技術を活用した生産性向上の提案も行います。

### ■ 昨年から引き続き実施する専門家派遣制度の活用例

幅広い分野の専門家が、貴社の状況に合わせて具体的にアドバイスします。以下は活用の一例です。

- ☑ **創業・事業承継に関する相談**：創業計画の策定、親族内・第三者承継の進め方、株式移譲や贈与に関する支援。
- ☑ **販売促進・IT活用**：SNSやHPを活用したPR、販路開拓戦略の立案、売れるチラシの構成・キャッチコピー案の検討。
- ☑ **経営管理・財務**：資金繰り表の作成指導、融資に向けた財務体質の強化、収益確保のための戦略策定。
- ☑ **BCP（事業継続計画）策定**：自然災害等のリスク評価、緊急時に事業を継続するための実効性ある計画作り。
- ☑ **労務・働き方改革**：同一労働同一賃金への対応、最新の労働基準法や育児・介護休業法を踏まえた体制整備。

### ■ ご利用にあたっての注意点

補助金申請書類の作成代行・チラシやホームページのデザイン制作・就業規則や労使協定の作成と届出・法人設立の登記手続きなどは、本支援の範囲外です。これらの実務は、事業者様と専門家との直接契約にて行ってください。本制度は「自社で取り組むための指針を得る場」としてご利用ください。

お申し込みやご相談は、お近くの商工会までお気軽にお寄せください。

春の  
**叙勲・褒章  
受章者**

令和8年春の叙勲・褒章受章者が発表され、次の方（商工会から報告のあった方）が受章されました。  
おめでとうございます。

藍綬褒章

川辺町商工会会員  
(消防功績)



日下部 宏暁氏

旭日双光章

海津市商工会会員  
(地方自治功勞)

藤田 敏彦氏

## 事業承継 まず何から？

大橋先生による連載(全2回)の第2回目をお届けします。前回に引き続き、会員事業者の皆様が事業承継に向けて具体的に踏み出すべき一歩について、さらに詳しく解説いただきます。

### 第2回

## 親族内承継は、計画づくりで動き出す

交代の時期を決めるだけでは進まない  
交代までの流れを見える化し、準備を進める

岐阜県事業承継・引継ぎ支援センター  
承継コーディネーター

中小企業診断士 大橋 義史



前回は、親族内承継では早めに話し合うことの大切さをお伝えしました。今回はその次の段階として、親族内承継を前に進めるための計画づくりについて考えてみたいと思います。

「自分では70歳で交代する」と決めていても、それだけで事業承継が進むわけではありません。実際には、後継者への引継ぎや、従業員・取引先への説明など、交代までに考えておくべきことが数多くあります。たとえば、経営者としての判断が必要な仕事をいつから後継者に任せるのか、主要な取引先にどのタイミングで紹介するのか、といったことです。交代の時期だけを決めても、その日までに何を進めるべきかが曖昧なままでは、準備はなかなか前に進みません。だからこそ、あらかじめ全体の流れを整理しておくことが大切です。

### ●代表交代の前に、整理しておくべきことがある

実際の親族内承継では、交代前に考えておくべきことが想像以上に多くあります。事業承継は、単に代表者が代われば終わるものではなく、経営そのものを次の世代へ引き継いでいく取組です。中小企業庁の事業承継ガイドラインでも、承継すべき経営資源は「人(経営)」「資産」「知的資産」の三つに整理されています。人(経営)の面では、後継者への権限移譲や役割分担、資産の面では株式や事業用資産の承継、知的資産の面では経営理念や自社の強み、取引先や従業員との信頼関係、ノウハウなどの引継ぎなどです。たとえば、社長しか把握していない得意先との付き合い方や、長年の勘どころで回してきた現場の判断も、目に見えない大切な知的資産です。事業承継とは、一日で完了する手続ではなく、こうした経営資源を少しずつ受け渡して

いく計画的な取組でもあるのです。

### ●計画づくりで、承継の段取りが見えてくる

計画づくりの大きな意味は、交代までに必要な準備を見える形にできることです。事業承継計画は、単なる予定表ではありません。承継すべき三つの経営資源のうち、どこに課題があるのかを整理し、何を、誰が、いつ頃までに進めるのかを明らかにするものです。たとえば、来期から後継者に営業を任せる、半年後までに主要取引先へ後継者を紹介する、株式や事業用資産の承継は専門家にも相談しながら時期を見て検討する、といった形で道筋を描きやすくなります。計画を経営者と後継者で共有するので、事業承継を円滑に進めやすくなるのが大きな利点です。こうした段取りの確認は、商工会を窓口とする事業承継計画策定支援の中で、当センターが税理士や中小企業診断士等の専門家を複数回派遣しながら、一緒に進めることができます。当センターは公的支援機関として、相談無料・秘密厳守で対応しています。計画に落とし込むことで、親族内承継はぐっと進めやすくなります。

計画づくりは、親族内承継を前に進めるための大切な土台です。まずは身近な商工会も活用しながら、一つずつ形にしていきましょう。

## 事業承継計画で見える化したい3つの経営資源



取り組むべき課題を明確にする



未来を応援

伊住屋本店

伝統と革新をつなぐ老舗の挑戦  
— 伊住屋本店の新たな一歩

創業1897年、地域に愛され続ける和菓子店

笠松町で創業約130年を迎える伊住屋本店は、長年にわたり地域に根ざした和菓子づくりを続けてきた老舗である。世代を超えて親しまれてきた味とおもてなしは、多くの常連客に支えられてきた。現在は後継者である息子佑樹さんが中心となり、伝統を守りながらも時代に合わせた新たな店づくりに取り組んでいる。

店舗リニューアルに込めた想いと歩み

2026年1月、同店は店舗のリニューアルを行った。来店しやすい空間づくりや新たなお客様との出会いを目指したものである。一方で、長年親しまれてきた店舗の雰囲気を変えることへの迷いや、営業を続けながらの改装など、簡単ではない面もあった。そうした中で、家族で何度も話し合いを重ね、「これまでの良さを大切にしながら、新しさも取り入れる」という方向性を少しずつ形にしていっていった。商工会としても、専門家による助言や融資相談などを通じて、その取り組みに寄り添いながら支援を行ってきた。その結果、明る



右上 6月おすすめの「みょうがぼち」  
右下 6月おすすめの「鮎菓子」  
左 店舗内



く開放感がありながらも、どこかほっとできる店舗へと生まれ変わり、リニューアル後は来店客も増え、店内はこれまで以上に賑わいを見せている。

未来へつなぐ事業承継とこれからの展望

後継者は商工会青年部での活動を通じて販路開拓や情報発信の重要性を学び、SNSや動画を活用した発信にも積極的に取り組んでいる。こうした新たな視点を取り入れることで、若い世代や新規顧客の来店にもつながっている。今後は、親から受け継いだ技術と想いを大切にしながら、地域に愛され続ける店としてさらなる発展を目指すとともに、事業承継を着実に進めていく考えである。老舗としての良さを大切にしながら、新しい取り組みにも一つひとつ丁寧に取り組まれている。  
(笠松町商工会)



事業主、妻、後継者である息子

御菓子司 伊住屋本店 1897

▲ 羽島郡笠松町下本町 14

🕒 8:00 ~ 18:00

🗓️ 月曜・第2火曜




▲HP ▲Instagram

# 経済センサス

## 活動調査



すべての事業所・企業が対象です。  
調査へのご理解・ご回答を  
よろしくお願いいたします。

回答は  
お早めに!

令和8年  
6月1日



総務省・経済産業省・岐阜県・市町村  
からのお知らせです。

